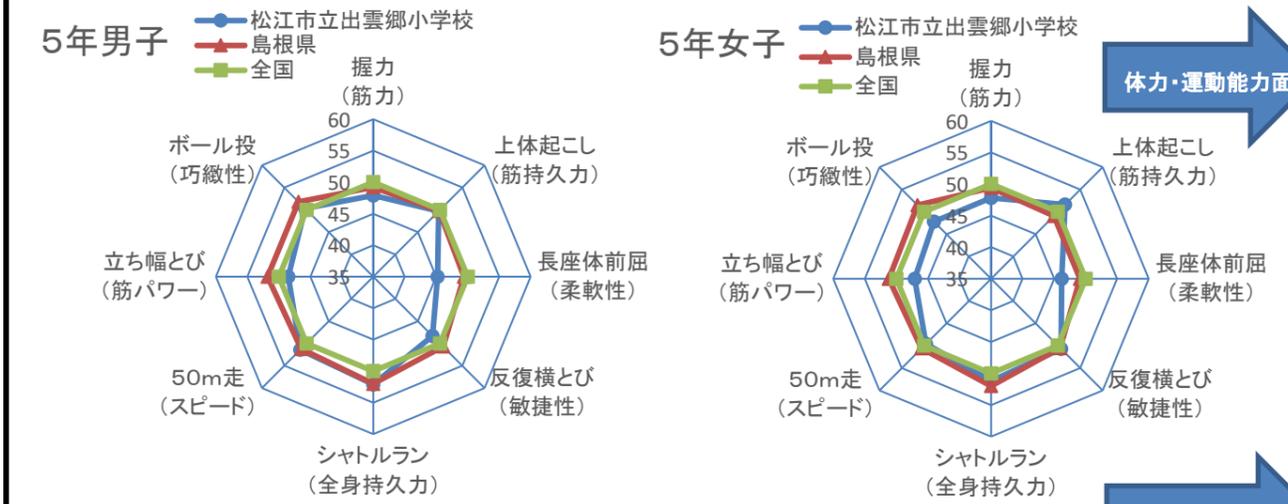
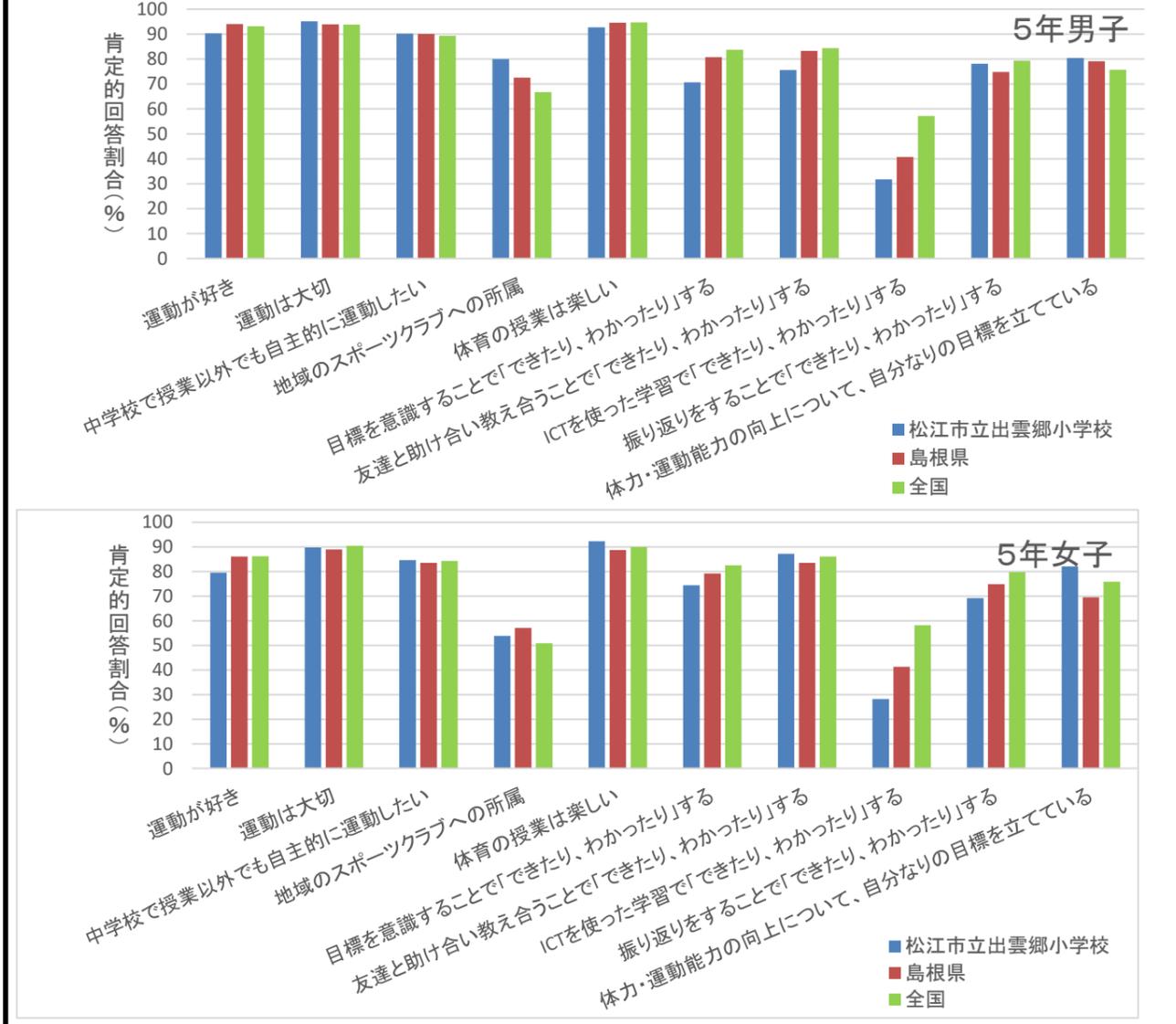


(1) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査<意識調査>の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力(筋力)	上体起こし(筋持久力)	長座体前屈(柔軟性)	反復横とび(敏捷性)	シャトルラン(全身持久力)	50m走(スピード)	立ち幅とび(筋パワー)	ボール投(巧緻性)
男子	-2.1	-0.3	-4.8	-1.7	2.1	1.4	-1.5	0.3
女子	-2.2	1.6	-3.8	0.7	1.2	-0.4	-2.9	-2.2

[-5p以上] [-5~-2p] [-2~0p] [0~2p] [2~5p] [5p以上]
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	-2.9	1.3	0.9	13.3	-2.0	-13.0	-8.8	-25.5
女子	-6.7	-0.6	0.3	2.9	2.3	-8.1	1.1	-30.0
男子	-1.3	4.8						
女子	-10.6	6.2						

[-7%以上] [-7~-3%] [-3~0%] [0~3%] [3~7%] [7%以上]
弱み ← → 強み

(3) 令和7年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
 - ・校内研究と関連付けた取組として、今年度行っている「あだかえりフレッシュ体操」(姿勢運動)を継続して行うとともに子どもの実態を考え、体操の内容を再考して実施する。
 - ・「あだかえりフレッシュ体操」の取組を評価し、校内全体で共有する。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
 - ・各学年で年間を通した授業計画を立て、学習内容に偏りがでないよう子どもの体力向上を目指す。
 - ・児童が活動の目的を意識し、振り返ることができるように、学習カードやタブレットの活用を各学年で話し合う。
 - ・運動量の確保ができるような体育授業づくりを提案、共有する。(導入時に五種目歩走・持久走を行う等)
 - ・体育用具を効率的に活用し、運動能力の向上を目指す。
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
 - ・「あだかえりフレッシュ体操」の継続的实施、評価、改善を行う。
 - ・縄跳び大会を全校で実施する。
 - ・体育委員会による「スポーツ交流」を学期に1回程度開催する。
 - ・休み時間に使用できる運動用具の充実を図り、使いやすく、片付けやすい環境づくりを行う。
 - ・外遊び・活動の推奨として毎週水曜日に行うマラソンチャレンジを継続して行ったり、「鉄棒、なわとび、マラソン」の取り組みを記録し評価できるカードを活用する。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
 - ・学校だよりや保健だよりの中で運動や健康に関するテーマを取り上げ、啓発を図る。
 - ・学園連絡会等を通して、体力や健康に関する課題を共有し、連携した取組推進を図る。